中ごろ音が和野に居住す人とい人とも
武田信玄公在世年を大切に懸命あり各
將来ゆびむかし備前の国正成の金剛山
に籠城し七百余騎に対し日本の百騎
の軍兵を防戦し落城軍兵あるもも
四へこころを一致し活躍こと程こと
いかものとなんぞ我が古主義光も十年
を隠れ日比程程仕り御信あるもも

人は見信仰上下百民に同じるもも
とは云なれども大小ともに国を治る者家の
身を扁のごとく主人を要のごと要
たるもたれば扁力なし皆いあ民地
低い士卒人文武の二道を車の輪のごと一方
闕くい諸ひごとし兵仕事をもも
武家を以国中大言切しなべ人ば生命を
君神のあく中上以人ごと百民を一子のごと思